Ⅵ～Ⅹ　各種報告

Ⅵ　健康支援

Ⅶ　環境調査

Ⅷ　精密検査外来

Ⅸ　画像検査オーダーシステム

Ⅹ　事業報告

健康支援

健診機関が行う事後指導・保健指導などの健康支援事業は、予防医学において重要な位置づけにある。当協会では保健師、管理栄養士、健康運動指導士、公認心理師ら専門スタッフがその役割を担い、一人ひとりの健康づくりをサポートしている。特定保健指導においてはICT（情報通信技術）を活用した遠隔支援や健診当日に行う保健指導を導入し、実績も増加している。また、市町村・事業所・学校などで健康支援に携わっている方を対象とした講習会やセミナーの開催、健康げんき倶楽部・ヘルシーレストラン食楽良の利用者に向けた啓発活動など、一次予防を目的としたサービスを行っている。

1．健診の事後措置

■集団健診の対応

各団体が主催する事後指導会で、健診の結果説明を行っている。令和5年度の事後指導実施団体は、4市町村、54事業所、4学校の計62団体であった。市町村では21回実施し、主に保健師と管理栄養士が対応した。事業所では134回実施し、保健師、管理栄養士、公認心理師が対応した。学校では5回実施し、保健師、管理栄養士が対応した（表1）。総実施回数は160回（前年度比97.0%）で、前年度を下回った。

表1　集団健診の事後指導実施状況

団　体	団体数	回数	派遣スタッフ			
			保健師	管理栄養士	健康運動指導士	公認心理師
計	62	160	45	5	0	110
市町村	4	21	19	2	0	0
事業所	54	134	23	1	0	110
学　校	4	5	3	2	0	0

■個別の指導・相談

人間ドックにおいて、保健師、管理栄養士による個別相談を実施した。令和5年度の実施数は保健指導1,332人、栄養指導469人であった。専門ドックでは個別相談を15人実施した（表2）。また、労災保険二次健康診断対象者の389人に保健指導を実施した（表2）。総実施人数は2,205人（前年度比95.5%）で、前年度を下回った。

表2　個別の指導・相談実施状況

計	内　容	人数
		2,205
人　間　ド　ッ　ク	保健指導	1,332
	栄養指導	469
専　門　ド　ッ　ク	個別相談	15
労災保険二次健康診断	保健指導	389

2．講演会講師派遣

令和 5 年度の講師派遣は、55 団体 194 回（前年度比 90.2%）であった。

表 1　団体内訳

団　体	団体数	回　数	主なテーマ
計	55	194	
市町村	2	37	コグニサイズ、介護予防教室
事業所	53	157	ストレスとセルフケア、働き盛りの健康づくり
学　校	0	0	

表 2　職種別内訳　　194 回

職　種	地域部門	産業部門	学校部門
計	37	157	0
医師	0	0	0
保健師	3	26	0
管理栄養士	3	9	0
健康運動指導士	31	17	0
公認心理師	0	16	0
労働衛生コンサルタント	0	89	0
看護師	0	0	0
その他	0	0	0

3．定期健康相談事業

■事業内容

団体から年間契約で委託を受け、健康管理や健康支援を定期的に実施している。

事業所に対し、健康診断の事後措置、職員の健康管理、健康セミナー、健康相談を実施した。また、職場巡視、衛生委員会出席などを、産業医・事業主・衛生管理者等と連携をとり実施した。

■実施状況

令和 5 年度の委託事業所は 5 団体、139 回（前年度比 97.2%）実施した。専門スタッフの派遣は、保健師 136 回、公認心理師 3 回であった（表 1）。

表 1　定期健康相談事業

団　体	団体数	回　数	派遣スタッフ
計	5	139	
事業所	5	136	保健師
		3	公認心理師

４．相談員派遣

令和５年度、岩手産業保健総合支援センターの産業保健相談業務として 12 回派遣した。

５．電話相談

当協会で実施している健康診断結果・検査等に関する相談や地域医療機関への情報提供等　657 件（前年度比 84.2％）の電話相談に対応した。

６．特定保健指導

令和５年度の初回面接実施団体は、前年度より５団体減少し 32 団体であった。実施人数は、動機付け支援 1,850 人、積極的支援 1,686 人、合わせて 3,536 人であり、前年度から 617 人増加した。

表１　部門別内訳　　人

区　分		初回面接実施人数	
		地域部門（９団体）	産業部門（23 団体）
計	3,536	354	3,182
動機付け支援	1,850	321	1,529
積極的支援	1,686	33	1,653

７．研修会等開催

健康教育研究会を開催した。詳細は『事業報告』「研修会等の開催」参照。

８．健康げんき倶楽部（気楽良（きらら））

健康運動指導士・保健師・管理栄養士といった専門スタッフによるトータルヘルスサポートサービス。それぞれの目的に応じたプログラムを提案し、体組成測定による成果確認を毎月実施する。また、適正体重に向けたアドバイスも行う。月会費制で、令和６年３月現在の会員数は 279 人。

９．健康講座等の開催

当施設において、健康講座（ココロカラダヨロコブ講座）等を開催。

表１　内訳

区　分	回数、団体数	人 数	主な内容
ココロカラダヨロコブ講座	9	60	運動、栄養、保健、メンタルヘルス
レストランを活用した食育活動	9	370	減塩レシピと試食品の提供 ワークショップ
施設見学	8	176	食楽良日和、施設説明と見学 ミニ健康講座

10. メンタルヘルス

ストレスチェック後に医師による高ストレス者への面接、公認心理師による保健相談等を実施。令和5年度は医師面接161件、保健相談等60件だった。

11. ヘルシーレストラン食楽良（食楽良）

「食を楽しみ良い人生を」をコンセプトに食事の「バランス」「適量」「適塩」を体験できるレストラン。令和5年度のランチ、スイーツの提供数は16,454食だった。また、毎月28日の「いわて減塩、適塩の日」にあわせ、お客様を対象に管理栄養士が減塩レシピと試食品の提供を行い、食育活動を行った。

環境調査

作業環境測定は有害物質の濃度や有害エネルギーなどの物理量を測定し作業環境評価を行うもので、環境改善のための工学的対策を講ずる重要な情報となる。種々の有害要因を減少させ、作業環境を適正に保ち、働く人々の健康障害を防止するための作業環境管理の基本となるものである。また、個々の労働者の有害物ばく露の管理手法として、個人サンプラーを労働者に装着して有害化学物質による個人ばく露濃度を推定する測定は、作業方法の改善や保護具管理の重要な情報となっている。公共の建築物や学校などにおける揮発性有機化合物等の測定や、ダニ又はダニアレルゲン検査、公衆浴場などのレジオネラ属菌検査は化学物質や細菌等により健康を害することがないように管理が求められている。

■実施状況

令和5年度の測定総件数は19,873件（前年度19,664件）で、前年度に対し101.1％と微増であった（図1）。

作業環境測定（労働安全衛生法第65条によるもの又は準ずる測定）は延べ618事業場、延単位作業場所2,455箇所に実施し、測定件数は19,261件であった（表1）。作業環境測定であるが、評価基準による評価をしない測定（溶接ヒューム、局所排気装置検査など）をその他の項目としており、1,067件実施した（表1）。

作業環境測定以外の環境測定は、学校及び公共施設の室内空気環境中の揮発性有機化合物（VOC）の測定を中心に612件実施した。その内訳は、揮発性有機化合物（VOC）の測定が469件、ダニ又はダニアレルゲンの検査が98件、レジオネラ属菌検査が13件であった（表2）。

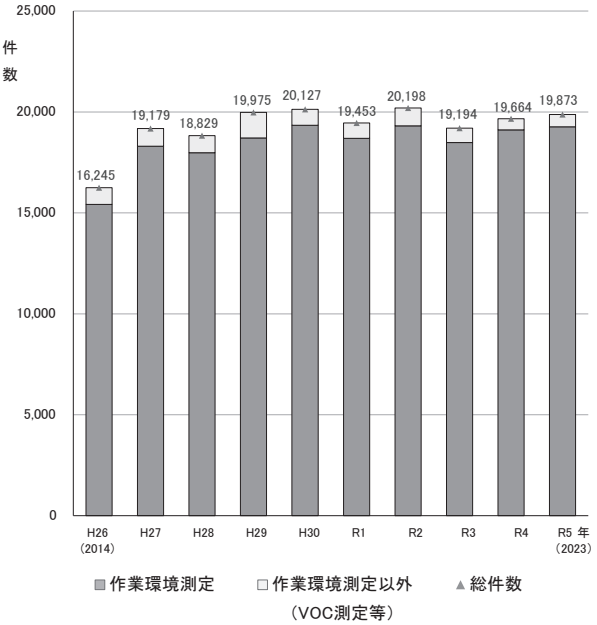
■検査成績

作業環境測定における延単位作業場所の管理区分内訳は、第1管理区分（作業環境管理が適切である）が全体の82.6％、第2管理区分（作業環境管理になお改善の余地がある）が8.0％、第3管理区分（作業環境管理が適切でなく速やかに改善措置の実施が必要）が9.4％であった。総合的にみると前年度と同程度であったが、第2・第3管理区分について測定項目別では最も割合が高い騒音が62.4％（前年度66.1％）、次いで粉じんが30.5％（33.4％）であり、前年度に比べ3～4％程度減少している。

■作業環境測定における主な採取・分析方法

対象項目	採取方法	分析方法
有機溶剤	固体捕集法	ガスクロマトグラフ法
	検知管法	
粉じん	相対濃度指示法	
	ろ過捕集法	重量分析法
金属	ろ過捕集法	原子吸光光度法
	液体捕集法	
特定化学物質	ろ過捕集法	重量分析方法 高速液体クロマトグラフ法
	検知管法	
	液体捕集法	吸光光度法
	固体捕集法	ガスクロマトグラフ法
		高速液体クロマトグラフ法

図1　測定件数の年次推移



■管理区分と管理区分に応じた講ずべき措置

管理区分	作業場の状態	講ずべき措置
第１管理区分	当該単位作業場所のほとんど（95％以上）の場所で気中有害物質の濃度が管理濃度を超えない状態	現在の管理の継続的維持に努める
第２管理区分	当該単位作業場所の気中有害物質平均が管理濃度を超えない状態	施設、設備、作業工程又は作業方法の点検を行い、その結果に基づき、作業環境を改善するため必要な措置を講ずるよう努める
第３管理区分	当該単位作業場所の気中有害物質平均が管理濃度を超えている状態	①　施設、設備、作業工程又は作業方法の点検を行い、その結果に基づき、作業環境を改善するため必要な措置を講ずる ②　有効な呼吸用保護具の使用 ③　健康診断の実施その他労働者の健康の保持を図るため必要な措置を講ずる

表１　測定件数・項目別事業場数・単位作業場所数　　（　　）内は％

区分（測定項目）	測定件数 ＊1	測定実施事業場延数 ＊2	延単位作業場所数 ＊3	延単位作業場所の管理区分内訳（割合％）＊4					
				第１管理区分		第２管理区分		第３管理区分	
計	19,261	618	2,455	2,028	(82.6)	197	(8.0)	230	(9.4)
粉じん（石綿を除く）	4,538	176	492	342	(69.5)	47	(9.6)	103	(20.9)
特定化学物質＊5	4,172	291	644	583	(90.7)	30	(4.7)	29	(4.5)
石綿	0	0	0						
金属	1,353	58	209	192	(91.9)	7	(3.3)	10	(4.8)
有機溶剤	5,887	426	915	837	(91.5)	54	(5.9)	24	(2.6)
騒音	2,244	35	197	74	(37.6)	59	(29.9)	64	(32.5)
その他＊6	1,067	120							

＊1：作業環境測定の結果の評価等に用いた測定点総数
＊2：測定項目ごとの実施事業場延数（総数は１項目以上の実施事業場延数。但し、その他の項目を除く）
＊3：作業環境測定結果の評価を実施した延単位作業場所の項目ごとの場所数（単位作業場所：作業環境測定結果の及ぶ範囲）
＊4：各項目における管理区分ごとの単位作業場所数及び割合
＊5：管理濃度が設定されていない測定も含む
＊6：作業環境測定であるが、結果の評価を実施しなかった測定の総件数及び事業場延数（分析のみの測定を含む）

表２　作業環境測定以外の環境測定実績

名　称	根拠となる法令等	物質名等	測定件数
計			612
揮発性有機化合物（VOC）の室内空気環境測定	官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について	ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，スチレン，p-ジクロロベンゼン，テトラデカン	114
	学校環境衛生基準	ホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，p-ジクロロベンゼン，エチルベンゼン，スチレン	355
ダニ又はダニアレルゲンの検査	学校環境衛生基準	ダニアレルゲン	98
レジオネラ属菌検査	公衆浴場法および同法施行条例，旅館業法および同法施行条例に基づく検査	浴槽水中のレジオネラ属菌	13
教室の換気，一酸化炭素の測定	学校衛生環境基準	二酸化炭素，一酸化炭素	16
温湿度の測定	学校衛生環境基準	温度，相対湿度	16

精密検査外来

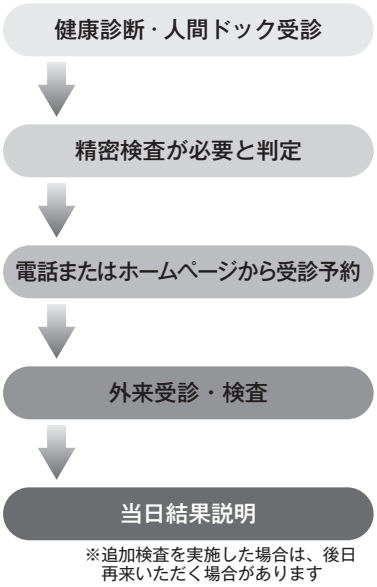
精密検査外来は、2014（平成 26）年に健診後のサポートを充実させる目的で開始した事業である。当協会の健康診断や人間ドックで精密検査が必要と判定された方を対象としている。完全予約制で待ち時間が少なく、保険適用で一度の受診で診察・検査・説明まで完了させる体制をとっているのが大きな特徴である。循環器内科、呼吸器内科、消化器内科の 3 つの診療科では、より高度な検査を実施し、治療が必要な方をより早く、より正確にトリアージして専門医療機関へ紹介している。

■実施状況

令和 5 年度の利用者数は前年度より 57 人減の 3,317 人（前年度比 98.3%）であった。
診療科別に前年度比をみると、呼吸器内科は 1,394 人（101.2%）で前年度を上回ったが、循環器内科 966 人（95.5%）、消化器内科 957 人（97.1%）は前年度を下回った（表 1）。

各診療科の利用状況（初診のみ）は、多い順に呼吸器内科 42.2%、消化器内科 41.9%、循環器内科 16.0% であった。また、健診部門別では産業保健部門の利用者が 68.3% と多かったことから、本外来の特徴である「一度の受診で完了する」ことが働く世代の精密検査受診率向上に役立っていると考えられる（表 2、図 3）。
「要精密検査」と判定された方々の精密検査受診率向上のために、本外来をさらに活用していただけるよう推進していきたい。

図 1　外来受診までの流れ



■診療科と検査項目

診療科	C 判定となった検査項目	精密検査外来で実施する検査
循環器内科	心電図検査 心臓超音波検査 頸動脈超音波検査 血圧脈波検査 胸部 X 線検査（循環器所見） 胸部 CT 検査（循環器所見）	ホルター心電図検査 負荷心電図検査 心臓／頸動脈超音波検査 MRI／MRA 検査 血液検査　など
呼吸器内科	胸部 X 線検査（呼吸器所見） 胸部 CT 検査（呼吸器所見） 呼吸機能検査 アミノインデックス（肺がん）	胸部 CT 検査 胸部 X 線検査　など
消化器内科	胃部 X 線検査 便潜血反応検査	上部／下部内視鏡検査 大腸 CT 検査

表１　診療科別検査人数

	計	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科	上部消化管内視鏡	下部消化管内視鏡	大腸 CT
計	3,317	966	1,394	957	221	498	238
二次検査（初診）	2,004	320	845	839	196	464	179
経過観察	610	243	346	21	12	5	4
その他	703	403	203	97	13	29	55

表２　健診部門別検査人数（初診のみ）　　（　）内 %：各健診部門内の割合、　〈　〉内 %：各診療科内の割合

	計	循環器内科		呼吸器内科		消化器内科		上部消化管内視鏡	下部消化管内視鏡	大腸 CT
計	2,004	320	(16.0)	845	(42.2)	839	(41.9)	196	464	179
人間ドック	273 〈13.6〉	25 〈7.8〉	(9.2)	145 〈17.2〉	(53.1)	103 〈12.3〉	(37.7)	28	56	19
産業保健	1,368 〈68.3〉	292 〈91.3〉	(21.3)	403 〈47.7〉	(29.5)	673 〈80.2〉	(49.2)	161	375	137
地域保健	359 〈17.9〉	3 〈0.9〉	(0.8)	293 〈34.7〉	(140.0)	63 〈7.5〉	(17.5)	7	33	23
学校保健	4 〈0.2〉	0		4 〈0.5〉	(100.0)	0				

図２　令和５年度　各診療科の利用状況（初診）

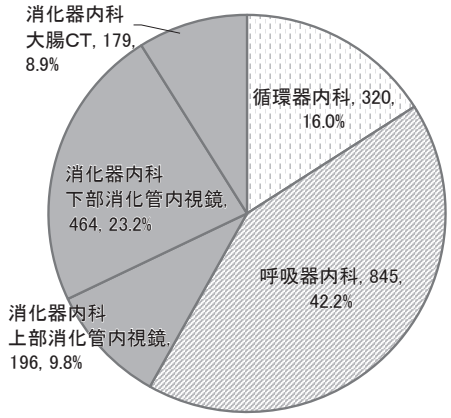


図３　令和５年度　各健診部門の利用状況（初診）

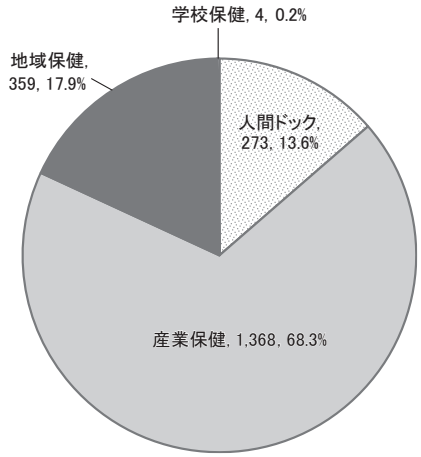
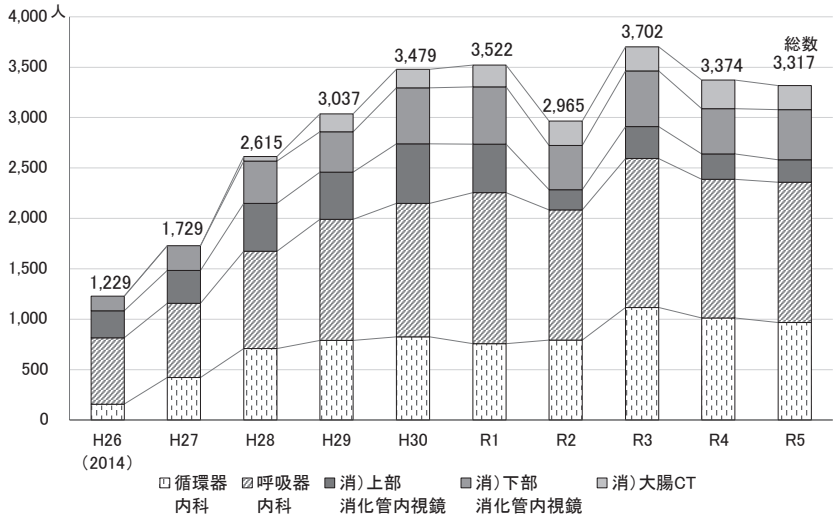


図４　利用状況の経年推移



画像検査オーダーシステム

近年の地域医療事情は、新しく高度な医療機器が整備され、専門医が在中する中核病院への患者集中が問題になっている。そこで、地域の医療機関が連携し、それぞれの特徴を活かし、地域全体がひとつの医療システムとなって最適な医療を提供する「地域医療連携」が提唱されている。当協会では2005（平成17）年より、人間ドックで使用しているMRI・CTなどの高度医療機器を利用した画像検査受託事業を実施している。
当協会近郊の医療機関に活用していただくことで、「地域医療の質の向上」、「かかりつけ医での振り分けによる中核病院の負担軽減」、「機器の稼働率確保」など、当協会、地域の医療機関・中核病院、患者間で相互のメリットが生まれると考える。

■受託状況

令和5年度、受託医療機関数は37機関（BigWaffle：32、県南：5）であった。
受託件数は742件（前年度比105.5％）で、前年度より39件増加した。検査項目の内訳は、CT検査451件（全体の60.8％）、MRI検査275件（同じく37.1％）、超音波検査14件（同じく1.9％）であった（表1）。

■特徴

この事業の特徴は以下の3点である。

1. 地域医療機関の第二の検査専門施設
   医療機関が、検体検査と同様に画像検査を当協会にオーダー、要望があれば読影し撮影画像と読影結果をお返しする。患者の検査料請求は通常診療の中で医療機関が行う。
2. 検査料金を保険診療点数以下に設定
   当協会から医療機関へ請求する検査料は、保険診療点数より低く設定している。
3. 患者の送迎
   要望があれば、当協会と医療機関との送迎を無料で実施する。

図1　画像検査受託事業の流れ

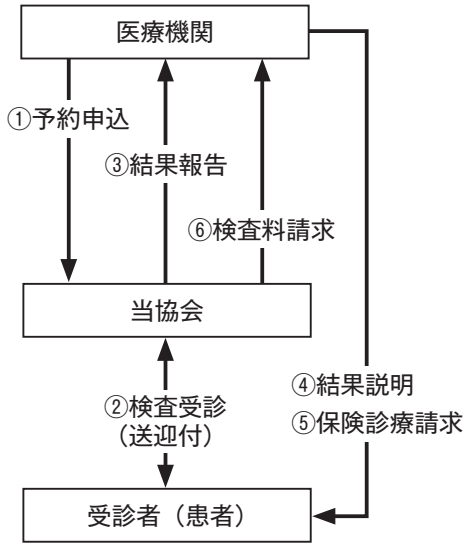


表1　検査項目別受託件数

	計	CT	MRI	乳房X線	超音波
計	742	451	275	2	14
BigWaffle	678	389	275	2	12
県南センター	64	62	-	0	2

事業報告

Ⅰ．事業報告（公益目的事業１：健康診断・健康増進事業）

１．学術委員会の開催

（1）専門委員会

①呼吸器系検診専門委員会【書面開催】	令和５年 4 月 10 日付
呼吸器系検診専門委員会	令 和 6 年 3 月 18 日
②消化器系検診専門委員会【書面開催】	令和６年 3 月 19 日付
③生活習慣病健診等専門委員会【書面開催】	令和６年 3 月 19 日付
④小児および学校保健専門委員会【書面開催】	令和５年 12 月 12 日付
⑤ウイルス肝炎専門委員会	令 和 5 年 9 月 2 日

（2）専門部会

①胸部読影専門部会【書面開催】	令和５年４月 10 日付
胸部読影専門部会	令 和 6 年 3 月 18 日
②胃部読影専門部会【書面開催】	令和５年４月 10 日付
胃部読影専門部会	令 和 6 年 3 月 16 日
③循環器検査専門部会	令 和 5 年 11 月 15 日
④眼底検査専門部会	令 和 6 年 3 月 28 日
⑤脳検査専門部会	令 和 6 年 1 月 26 日
⑥乳がん検診専門部会	令 和 6 年 3 月 27 日
⑦学校心臓検診専門部会	令 和 6 年 3 月 4 日
⑧脊柱側弯検診専門部会	令 和 6 年 2 月 26 日
⑨小児生活習慣病健診等専門部会【書面開催】	令和６年３月 22 日付

２．関係機関担当者会議の開催

（1）学校保健関係

①令和５年度学校保健連絡会議

令和５年 12 月 25 日【Web 開催】

ア．講演

「岩手県における側弯症検診の現況と問題点－今後の展望－」

講師：栃内第二病院　いわて脊椎側弯センター　センター長　　山　崎　　健

イ．事業報告

・令和４年度健診・検査実施状況

ウ．報告事項

・令和５年度健診・検査申込状況

・令和６年度事業計画・学校保健事業計画骨子（案）

・令和６年度変更事項

（2）地域保健関係

①令和５年度市町村健康推進担当部課長会議

令和５年 11 月 24 日　　Big Waffle 大会議室　　36 人

ア．講演

「第４期特定健診・特定保健指導にどう取り組むか」

講師：公益財団法人岩手県予防医学協会　予防医学部長　　坂　田　清　美

イ．報告事項

・令和４年度健診・検査実施状況

・令和４年度住民健診有所見率

・令和５年度健診・検査実施及び予約状況

・令和６年度地域保健事業計画骨子（案）
・令和６年度変更事項

②令和５年度保健活動検討会

令和６年３月４日　　盛岡市　アートホテル盛岡　　62人

ア．講演

「特定健康診査・特定保健指導を効率的に推進するために」

講師：公益財団法人岩手県予防医学協会　予防医学部長　　坂　田　清　美

イ．報告事項

・令和４年度健診・検査実施状況
・令和４年度住民健診有所見率
・令和５年度健診・検査実施状況
・令和６年度地域保健事業計画骨子
・令和６年度変更事項

(3) 産業保健関係

①第12回産業保健「健康支援セミナー」

令和６年２月８日　　盛岡市　アートホテル盛岡　　50人

ア．講演

「働く人々における睡眠の重要性：勤務時間インターバルとつながらない権利」

講師：独立行政法人労働者健康安全機構　労働安全衛生総合研究所
過労死等防止調査研究センター　　久　保　智　英

イ．情報提供

「令和６年度に向けての行政動向」

講師：岩手労働局　労働基準部
健康安全課　課長補佐　　藤　元　佳　能

ウ．報告事項

・健診結果報告　令和４年度健診結果・令和３年度追跡調査結果
・推定塩分摂取量について
・推定塩分摂取量測定結果説明

３．研究会・講習会・健康講座等の開催

(1) 第38回健康教育研究会の開催

令和５年10月10日～11月10日【Web開催】 222人

ヒトの脳と心の発達を科学の視点で考える～コロナ禍が教えてくれたこと～

講師：京都大学大学院教育学研究科教授　　明　和　政　子

(2) 学術講演会

学術講演会の開催なし

(3) 健康講座・健康教室等の開催

①レストラン食楽良　いわて減塩・適塩の日企画	令和５年４月28日	45人
②ヨロコブ講座　ｺﾚｽﾃﾛｰﾙ・中性脂肪の改善ポイント	令和５年６月22日	８人
③レストラン食楽良　いわて減塩・適塩の日企画	令和５年６月28日	45人
④ヨロコブ講座　ストレスとセルフケア	令和５年７月20日	５人
⑤レストラン食楽良　いわて減塩・適塩の日企画	令和５年７月28日	45人
⑥ヨロコブ講座　たかが血圧、されど血圧　基本編	令和５年８月24日	８人
⑦レストラン食楽良　いわて減塩・適塩の日企画	令和５年８月28日	45人
⑧ヨロコブ講座　たかが血圧、されど血圧　実践編	令和５年９月28日	８人
⑨レストラン食楽良　いわて減塩・適塩の日企画	令和５年９月28日	45人
⑩ヨロコブ講座　楽しく脳活‼コグニサイズ	令和５年10月26日	７人
⑪ヨロコブ講座　下げたい血糖値	令和５年11月16日	４人
⑫レストラン食楽良　いわて減塩・適塩の日企画	令和５年11月28日	45人
⑬ヨロコブ講座　身近な人のこころの健康を守る	令和５年12月21日	５人

⑭ヨロコブ講座　免疫力アップを目指して	令和 6 年 1 月 18 日	7 人
⑮ヨロコブ講座　生活体力を上げる食事	令和 6 年 2 月 15 日	8 人
⑯レストラン食楽良　いわて減塩・適塩の日企画	令和 6 年 2 月 28 日	45 人
⑰レストラン食楽良　いわて減塩・適塩の日企画	令和 6 年 3 月 28 日	45 人
⑱美味しいマナビ体験　スマイルワークショップ	令和 6 年 3 月 29 日	10 人

4. 職員研修

(1) 内部研修会の実施

①交通安全講習会（新入職員、新採用アシスタント職員等）	32 人参加
②安全運転講習会【Web 開催】	611 人参加
③防災訓練（年 2 回）（防災教育及び避難訓練）	延べ 1,008 人参加
④職員全体研修会【Web 開催】	558 人参加
⑤職員研究発表会（24 題）	100 人参加
合　　計	2,309 人参加

(2) 外部研修会への参加

主催別内訳

①公益財団法人予防医学事業中央会関係研修会	9 回	28 人参加
②公益財団法人結核予防会関係研修会	4 回	15 人参加
③公益社団法人全国労働衛生団体連合会関係研修会	25 回	62 人参加
④公益社団法人日本作業環境測定協会関係研修会	4 回	4 人参加
⑤その他	180 回	272 人参加
合　　計	222 回	381 人参加

職種別内訳

①医師関係	58 回	71 人参加
②保健師関係	18 回	21 人参加
③臨床検査技師関係	35 回	51 人参加
④放射線技師関係	21 回	31 人参加
⑤作業環境測定士関係	9 回	9 人参加
⑥看護師関係	14 回	18 人参加
⑦栄養士関係	1 回	1 人参加
⑧運動指導士関係	2 回	2 人参加
⑨臨床心理士関係	2 回	2 人参加
⑩事務関係	86 回	175 人参加
合　　計	246 回	381 人参加

5. 研究発表等

(1) 心電学関連春季大会 2023（東京都）

令和 5 年 4 月 22 日

「学校心臓検診で検出される心基礎疾患ならびに心電図所見の動向」　小　松　　隆

(2) 第 64 回日本神経学会学術大会（千葉市）

令和 5 年 5 月 31 日～ 6 月 3 日

①「東日本大震災被害地域の岩手県沿岸における頭痛リスク因子研究 -2012-2020 年の変遷」

坂　田　清　美

②「東日本大震災被害地域の岩手県沿岸における片頭痛リスク因子研究 -2012-2020 年の変遷」

坂　田　清　美

(3) 第 59 回日本循環器病予防学学会学術集会（鹿児島市）

令和 5 年 6 月 3 日

「本邦の学校心臓検診における WPW 症候群の頻度ならびに臨床像」　小　松　　隆

(4) 第 69 回日本不整脈心電学会学術集会（札幌市）
令和 5 年 7 月 7 日～ 8 日
①「Clinical characteristics of tachycardia-induced cardiomyopathy in patient with persistent atrial fibrillation.」 小 松 隆
②「The 21st century trends in atrial fibrillation prevalence and well-established risk factors in the community.」 小 松 隆
③「検査室で見逃したくない心電図～心電図不整脈編～」 小 松 隆
(5) 第 3 回日本不整脈心電学会東北地方会（仙台市）
令和 5 年 9 月 30 日
①「正常型、右脚ブロック型ならびに左脚ブロック型 QRS 波形を呈した房室結節リエントリー性頻拍の 1 例」 小 松 隆
②「検査室で見逃したくない心電図とは？～心電図波形編～」 小 松 隆
(6) 第 27 回日本心不全学会学術集会（横浜市）
令和 5 年 10 月 7 日
「The relationship between atrial fibrillation history and isolated diastolic dysfunction in patients with paroxysmal atrial fibrillation. -A propensity score matched study-」 小 松 隆
(7) 第 31 回岩手医用画像研究会（盛岡市）
令和 5 年 10 月 7 日
「大腸 CT 検査の腸管外所見についての検討」 一方井 正 宏
(8) 第 82 回日本公衆衛生学会総会（つくば市）
令和 5 年 10 月 31 日～ 11 月 2 日
「東日本大震災被災地域における被災状況と座位行動の関連－RIAS Study－」 坂 田 清 美
(9) 第 22 回岩手県診療放射線技師会学術大会（盛岡市）
令和 5 年 11 月 26 日
「胸部 CT 画像における医用画像診断関連ツールの導入報告」 五十嵐 泰
(10) 第 34 回日本疫学会学術総会（大津市）
令和 6 年 2 月 1 日～ 2 日
「東日本大震災被災地域の住民における喫煙習慣が被災後 9 年間の呼吸機能にもたらす影響」
坂 田 清 美
(11) 第 40 回岩手県臨床細胞学会・集談会（盛岡市）
令和 6 年 2 月 10 日
「子宮頸がん検診における従来法と液状化細胞診（LBC 法）の比較検討」 吉 田 桂 子
(12) 日本消化器がん検診学会東北支部超音波研修委員会　第 16 回東北セミナー（仙台市）
令和 6 年 3 月 2 日
「健診で発見された肝原発性神経内分泌腫瘍の 1 例」 古 舘 美 咲
(13) 第 57 回全国予防医学技術研究会（横浜市）
令和 6 年 3 月 7 日～ 8 日
①「胃部 X 線検査で発見された胃がん症例の画質の検討」 田 村 惇
②「乳がん発見に対する検診受診間隔の影響を考える」 鈴 木 奈 穂
③「主体性を活かした健康づくり～ヘルスアップチャレンジの取り組み～」 菅 原 結香子
④「心房細動新規発症と心電図所見についての検討」 引 木 珠 美
⑤「推定塩分摂取量検査導入後の推移と血圧値について」 小 坂 加麻理
⑥「アウトカム評価の検討～特定保健指導第 4 期に向けて～」 高 橋 るり子
(14) 第 88 回日本循環器学会学術集会（神戸市）
令和 6 年 3 月 8 日～ 10 日
①「Clinical characteristics of tachycardia-induced cardiomyopathy in patient with persistent atrial fibrillation.」 小 松 隆
②「Potential factors for the future development of chronic kidney disease in general populations with atrial fibrillation.」 小 松 隆
③「The 21st century trends in atrial fibrillation prevalence and well-established risk factors in the

community.」　小　松　　隆
④ Paradox in the prevalence of atrial fibrillation and supraventricular contraction between obese individuals and skinny individuals.」　田　巻　健　治

(15) 第 41 回岩手糖尿病研究会（盛岡市）
令和 6 年 3 月 9 日
「成人と学童期の糖代謝検査の推移について」　赤　平　　暉

(16) 第 35 回岩手公衆衛生学会（盛岡市）
令和 6 年 3 月 23 日
「推定塩分摂取量検査導入後の推移と血圧値について」　足　立　育　子

(17)「予防医学ジャーナル　第 533 号」への投稿（予防医学事業中央会発行）
①「マンモグラフィにおける新型コロナワクチン接種に伴う反応性リンパ節腫大の発現率とその影響について」　細　川　悠　子
②「人間ドックにおける洞性頻脈の現状」　下屋敷　美　桜

(18) J Epidemiol.（投稿）
「Associations Between Lifestyle Factors and Constipation Among Survivors After the Great East Japan Earthquake : A 9-year Follow-up Study.」　坂　田　清　美

(19) J Atheroscler Thromb.（投稿）
「High-Density Lipoprotein and Omega-3 Fatty Acid Intake Differentiates Japanese and Japanese-Americans : The INTERLIPID Study. 」　坂　田　清　美

(20) Geriatr Gerontol Int.（投稿）
「Rapid weight change as a predictor of disability among community-dwelling Japanese older adults.」　坂　田　清　美

(21) Public Health Nutr.（投稿）
「Dietary behaviours and related lifestyles according to the presence or absence of skipping breakfast in Japanese adults : the JPHC-NEXT study.」　坂　田　清　美

6. 広報活動

(1) 機関誌の発行『健康いわて』（第 326 号～第 329 号）　季刊 4,000 部
(2) 事業年報 第 52 号 令和 4 年度報告　1,400 部
(3) ホームページの更新
(4) テレビＣＭの放映（毎週）

7. 予防医学事業中央会にかかわる事業

(1) 各種会議・研修会への参加

①第 1 回全国運営会議（東京都）	令和 5 年 7 月 6 日	3 人
②生化学研修会（東京都）	令和 5 年 7 月 27 日～ 28 日	1 人
③第 40 回全国情報統計研修会（群馬）	令和 5 年 8 月 24 日～ 25 日	4 人
④予防医学事業推進東北ブロック会議（盛岡市）	令和 5 年 10 月 6 日	14 人
⑤第 2 回全国運営会議（松江市）	令和 5 年 10 月 26 日	1 人
⑥第 68 回予防医学事業推進全国大会（松江市）	令和 5 年 10 月 26 日～ 27 日	3 人
⑦保健指導研修会（東京都）	令和 6 年 1 月 25 日～ 26 日	2 人
⑧全国業務研修会（宮崎市）	令和 6 年 2 月 15 日～ 16 日	4 人
⑨第 57 回全国予防医学技術運営会議（横浜市）	令和 6 年 3 月 6 日	2 人
⑩第 57 回全国予防医学技術研究会（横浜市）	令和 6 年 3 月 7 日～ 8 日	8 人

8. 結核予防会にかかわる事業

(1) 結核予防会支部の業務の実施

①検診事業

②複十字シール運動の展開（結核対策事業資金の造成）

ＮＰＯ法人岩手県地域婦人団体協議会と共同で運動を実施

運動期間　　令和５年８月１日～12月31日まで

実績	令和５年度	（令和４年度）
大型シール	355枚	（405枚）
小型シール	5,581枚	（6,472枚）
募金総額	1,322,347円	（1,445,608円）
交付金収入	576,726円	（622,940円）
募金総額の内、岩手県地域婦人団体協議会の実績	400,000円	（460,000円）

③普及啓発、広報活動

ア．岩手県知事表敬訪問（盛岡市）　令和５年８月10日　4人

イ．令和５年度結核予防啓発キャンペーン

・結核予防週間に合わせ、施設内に普及啓発用ポスターを掲示

ウ．ポスター・チラシ等の配布

・市町村、教育委員会、保健所、県立病院、公共施設など

エ．広報誌の配布

『複十字』（№410 ～ 415）

（公益財団法人結核予防会発行）　隔月400部

『健康の輪』

（全国結核予防婦人団体連絡協議会発行）　年３回110部

(2) 各種会議、研修会への参加

①第１回複十字シール運動担当者会議【Web開催】	令和５年９月15日	2人
②東北・北海道ブロック会議（福島市）	令和５年10月19日	4人
③東北地区結核予防婦人団体幹部研修会（山形市）	令和５年11月１日	2人
④第２回複十字シール運動担当者会議（東京都）	令和５年12月15日	1人
⑤全国支部事務局長研修会・事務連絡会議（東京都）	令和６年１月23日	1人
⑥第75回結核予防全国大会（東京都）	令和６年３月14日～15日	9人

9. 調査・研究事業

(1) 岩手県北地域コホート研究

(2) 厚生労働科学研究委託費革新的がん医療実用化研究事業
乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究

(3) 日本医療研究開発機構（AMED）革新的がん医療実用化研究開発事業
低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験および大規模コホート研究

(4) 国立感染症研究所
都市部及び非都市部住民における経時的な新型コロナウイルスの血清疫学研究

(5) 追跡調査

(6) 経時的データの有効活用

(7) 東北メディカル・メガバンク事業　地域住民リスク回付コホート調査

10. 令和5年度岩手県へき地指定校実施内容

	心臓検診	貧血検査	生活習慣病予防健診	脊柱側弯検診	尿検査	ピロリ菌検査
小　学　校（全45校）	590	268	235	236	2067	0
中　学　校（全23校）	305	757	194	191	944	0
合　　計	895	1025	429	427	3011	0

Ⅱ. 事業報告（公益目的事業2：幼老統合事業）

1. 運営状況

(1) 保育園

①園児数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1歳	12	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
2歳	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11
3歳	13	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
4歳	13	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
5歳	14	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
計	70	78	78	78	78	78	77	77	77	77	77	77	77

②保育時間

月～土曜日　　7：00～18：00（延長保育　18：00～19：00）

休み：日曜日・祝祭日、年末年始 12/29～1/3

(2) 児童クラブ

①児童数　※対象：飯岡小学校、向中野小学校、本宮小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	30	30	30	30	30	31	32	32	32	32	31	31
2年生	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25	25
3年生	25	25	25	25	26	25	25	25	25	25	24	24
4年生	15	15	15	15	15	15	15	15	14	13	13	13
5年生	15	15	15	15	15	12	12	12	11	11	11	11
6年生	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
計	115	115	115	115	116	112	113	113	111	110	108	108

②保育時間

月～金曜日　13：00～18：00（延長保育　18：00～20：00）

土曜日　　8：00～18：00

長期休暇　　7：30～18：00（延長保育　18：00～19：30）

休み：日曜日・祝祭日、お盆 8/13～16、年末年始 12/29～1/3

なお、学校行事等による振替休日は長期休暇に準じた受け入れ対応を行った。

(3) デイサービス（地域密着型通所介護事業）

①利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	13	13	13	14	14	15	15	15	15	13	12	12
延べ人数	70	71	76	73	76	80	81	83	86	72	69	68

②利用時間
月～金曜日　　9：00～16：00
休み：土曜日・日曜日・祝祭日、お盆 8/13～16、年末年始 12/29～1/3

2. 運営等に関する委員会等の開催（法定設置）

(1) 保育園運営委員会　令和 5 年度開催せず
(2) 介護事業運営推進会議　令和 5 年 11 月 17 日
〃　令和 6 年 3 月 11 日

3. 幼老統合施設保育園入園式・進級式・卒園式の実施

(1) 保育園入園式　令和 5 年 4 月 1 日
(2) 保育園進級式　令和 5 年 4 月 3 日
(3) 保育園卒園式　令和 6 年 3 月 23 日

4. 幼老統合施設各種行事・公開行事の実施

(1) 保育園運動会「ふれあいランド岩手」にて開催（3 歳以上児）　令和 5 年 9 月 21 日
(2) 保育園発表会　クラスごとに開催　令和 5 年 12 月 13 日

5. 保育所（園）長会議への参加　11 回

6. 保育所運営事業所会議・研修会・勉強会等への参加　36 回　36 人

7. 児童クラブ運営事業所会議・研修会・勉強会等への参加　5 回　5 人

8. デイサービス運営事業所会議・研修会・勉強会等への参加　5 回　6 人

9. 異世代間交流、地域交流の実施

(1) 保育園、デイサービス、児童クラブが日常的な相互交流を実施
※新型コロナウイルス感染症が 5 類となったことで対面での交流を実施。園児、児童、高齢者がそれぞれ自発的に交流を行い、コロナ禍以前よりも活発で自然な交流が生まれた。
(2) 季節のイベントを 3 部門合同で行い「食育」「運動」「交流」をテーマとした「幼児と高齢者とのコミュニケーション」を実施
※梅干し作りやマラソン大会、夏の交流行事など食育・運動・交流をテーマにした行事を開催し、子どもたちの取り組みを高齢者が応援するなど、行事を通して多くの交流を行った。
(3) 近隣の学校・自治会等との交流会の実施
※峰南支援高等学校と交流を行い、体操やゲーム、施設見学を行った。近隣自治会とハロウィン交流を開催、また焼き芋会に地域の方を招待するなど、幼老交流を地域の方々と行うことができた。

10. 普及啓発・広報活動

(1) 健康診断・健康増進事業が発行する機関誌「健康いわて」に『Cocoa 通信』と『みんなで Cocoa 運動』を毎号掲載し、施設や活動内容についての情報を発信。地元自治会にも配布した。
(2) Cocoa 独自のホームページを作成し、幼老交流活動の内容等を随時更新することで、施設についての情報を発信。
(3) Cocoa（デイサービス）の紹介パンフレットを作成し、地元自治会等に配布した。

11. 職員研修

Ⅰ．事業報告（公益目的事業 1：健康診断・健康増進事業）「5. 職員研修」と同じ

12. 調査・研究事業：令和 5 年度該当なし

13. 研究発表

第 45 回職員研究発表会（当協会）　令和 6 年 3 月 27 日
「Cocoa 農園を通した世代間交流」～栽培・収穫・クッキング！～　保育士　鎌　田　亜耶子

14. 児童福祉施設の運営に係る指導監査（児童福祉法施行令第 38 条の規定に基づく）

実 施 日：令和 5 年 8 月 7 日
実 施 者：盛岡市保健福祉部地域福祉課
対象施設：Cocoa（保育園）
実施目的：保育所を運営するに当たり、関係法令が遵守されているか
監査結果：特に是正改善を求める事項はなし

15. 介護保険施設等の実地指導：令和 5 年度該当なし

16. 施設見学

保育園見学者　　1 回　33 人

17. 施設環境の整備：令和 5 年度該当なし

Ⅲ．法人の運営に関する事業

1．評議員会、理事会、定期監査等の開催

(1) 評議員会

①第 1 回評議員会（令和 5 年 6 月 23 日、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING）

ア．書面による評議員会決議について報告された。

イ．評議員の辞任、就任について報告された。

ウ．令和 4 年度事業報告について原案どおり承認された。

エ．令和 4 年度収支決算報告並びに監査報告について原案どおり承認された。

※決議に必要な出席評議員数 8 人、出席 9 人、欠席 5 人、監事出席 1 人、理事出席 3 人

②第 1 回書面による評議員会（令和 5 年 8 月 23 日付）

ア . 理事の選任について決議された。

(2) 理事会

①第 1 回書面による理事会（令和 5 年 4 月 24 日）

ア．評議員候補者の推薦について決議された。

イ．令和 5 年度定時評議員会の開催について決議された。

②第 1 回理事会（令和 5 年 6 月 2 日、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING）

ア．書面による理事会決議について報告された。

イ．書面による評議員選定委員会決議について報告された。

ウ．評議員の辞任、就任について報告された。

エ．令和 4 年度事業報告について原案どおり決議された。

オ．令和 4 年度収支決算報告について原案どおり決議された。

カ．令和 5 年度第 1 回定期監査について報告された。

キ．理事の職務執行状況について報告された。

※決議に必要な出席理事の数 6 人、出席 7 人、欠席 4 人、監事出席 3 人

③第 2 回書面による理事会（令和 5 年 7 月 28 日）

ア．評議員候補者の推薦について決議された。

イ．臨時評議員会の開催について決議された。

④第 2 回理事会（令和 6 年 3 月 22 日、エスポワールいわて）

ア．理事の辞任、就任について報告された。

イ．評議員の辞任、就任について報告された。

ウ．書面による理事会決議について報告された。

エ．書面による評議員会決議について報告された。

オ．書面による評議員選定委員会決議について報告された。

カ．令和 5 年度上半期理事の職務執行状況について報告された。

キ．令和 5 年度上半期監査について報告された。

ク．令和 6 年度事業計画について原案どおり決議された。

ケ．令和 6 年度収支予算について原案どおり決議された。

コ．任期満了に伴う次期評議員候補者の推薦について決議された。

※決議に必要な出席理事の数 6 人、出席 8 人、欠席 3 人、監事出席 2 人

(3) 定期監査

①第 1 回定期監査（令和 5 年 5 月 26 日、公益財団法人岩手県予防医学協会会議室）

ア．令和 4 年度事業報告について適正と認められた。

イ．令和 4 年度決算報告について適正と認められた。

ウ．理事の職務執行状況について報告された。

※監事出席 3 人、理事出席 2 人

②第 2 回定期監査（令和 5 年 12 月 4 日、公益財団法人岩手県予防医学協会会議室）

ア．令和 5 年度上半期事業報告について適正と認められた。

イ．令和 5 年度上半期収支状況について適正と認められた。

ウ．理事の職務執行状況について報告された。

※監事出席３人、理事出席２人

(4) 評議員選定委員会

①第１回書面による評議員選定委員会（令和５年５月９日）

ア．評議員の選定について決議された。

②第２回書面による評議員選定委員会（令和５年８月23日）

ア．評議員の選定について決議された。

2. 規程等の制定・改定について

(1) 規程等の制定

①職員の旧姓使用に係る要領
②IT・デジタル推進委員会規程
③化学物質管理規程
④化学物質のリスクアセスメント実施規程
⑤情報システム管理規程
⑥情報システム運用継続計画
⑦情報システム監査実施要領

(2) 規程等の改定

①給与規程
②個人情報保護基本規程
③学術委員会規程
④非常勤嘱託職員の報酬等に関する取り決め
⑤酒気帯び検査の実施要領
⑥文書取扱規程
⑦遠距離通勤者の早出出勤の際の高速道路使用料支払いについて
⑧オンライン資格確認等システム及びレセプトのオンライン請求システムにかかる安全対策の規程
⑨組織規程

3. 職員研修

(1) 内部研修会の実施

①令和６年度新入職員事前研修会	33人
②新入職員フォロー研修（令和４年度11月、令和５年度採用職員対象）	27人
③先輩職員研修（令和３年度７月、令和４年度採用職員対象）	30人
④人事考課研修（考課者）	90人
⑤人事考課研修（被考課者）※録画視聴	252人
合　　計	432人参加

4. 各種表彰の受賞

(1) 公益財団法人予防医学事業中央会関係

①奨励賞　総務部経理課会計係長　菅　原　圭　子
　　医療技術部生理機能検査課長補佐　遠　藤　あゆみ

(2) 公益社団法人全国労働衛生団体連合会関係

①功績賞　医療技術部長　山　田　毅　彦
②奨励賞　医療技術部放射線課消化器系検査係長　久保田　憲　宏
　　総務部経理課長補佐　赤　澤　　赳

(3) その他

①盛岡地区安全運転管理者部会優良副安全運転管理者表彰
　　巡回健診事業部地域・学校健診課長　小　西　雅　明
②盛岡地区安全運転管理者部会優良安全運転者表彰
　　巡回健診事業部付担当課長　齋　藤　　学

協会概要

組織概要

組織図

職員構成

役員・学術委員名簿

施設概要

機器整備

精度管理実施状況

許可、認可等

全国組織とのかかわり

付属診療所

協会概要

1．組織概要

■名　称　公益財団法人岩手県予防医学協会

■所在地

Big Waffle（ビッグワッフル） 精密検査外来施設　ふわり	〒020-8585　岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号 TEL：019-638-7185（代）　FAX：019-637-1278
県南センター	〒020-0857　岩手県胆沢郡金ケ崎町西根前野209番地1 TEL：0197-44-5711（代）　FAX：0197-44-4853
幼老統合施設　Cocoa	〒020-0857　岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番45号 TEL：019-614-0800（保育）　019-614-0820（児童クラブ・デイサービス） FAX：019-614-0801（保育）　019-614-0831（児童クラブ・デイサービス）

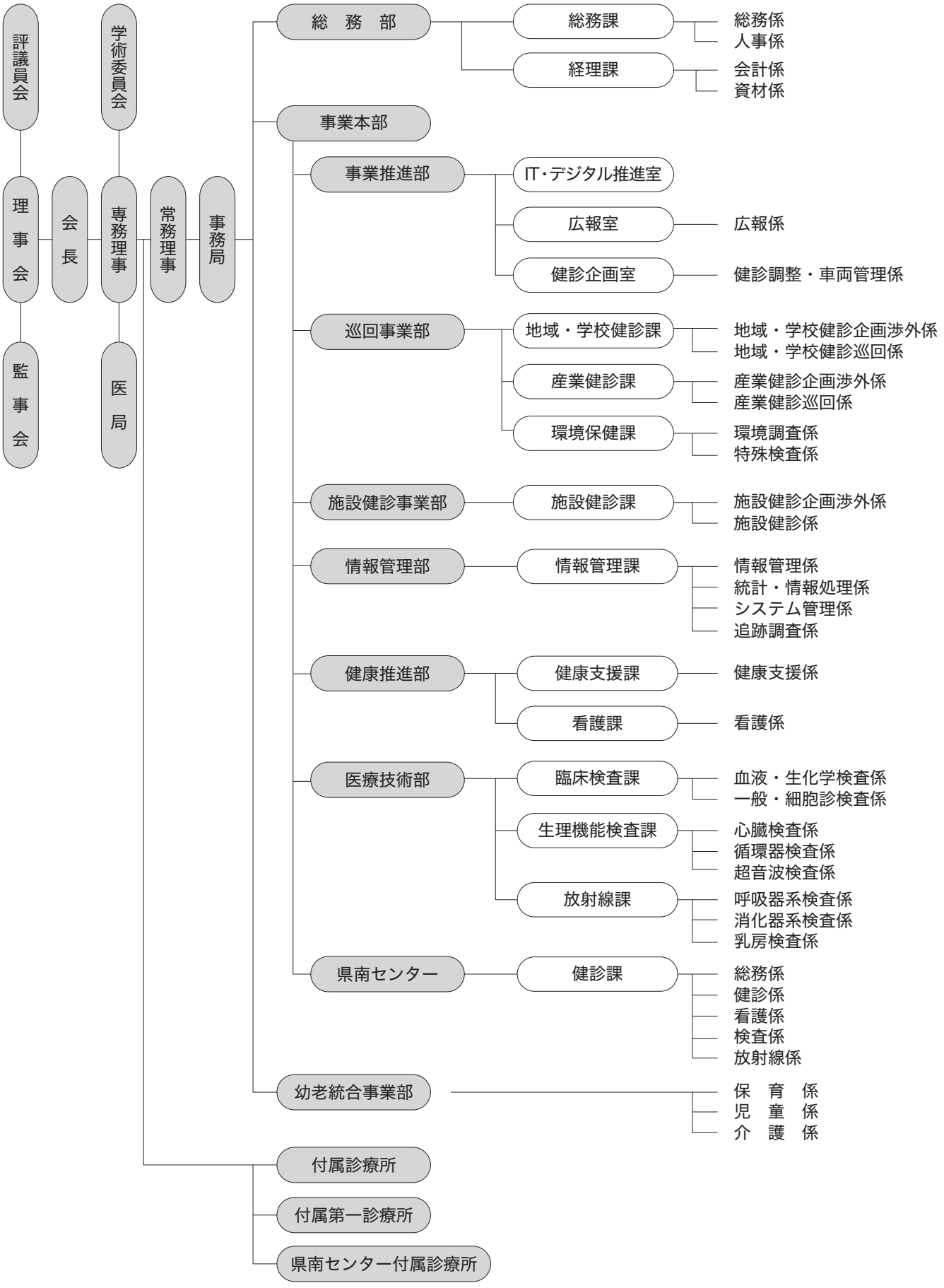
■設　立　1970（昭和45）年10月1日

■沿　革

1970（昭和45）年	任意団体岩手県予防医学協会として発足（職員4名）、寄生虫卵検査を中心に業務を開始 岩手県知事より財団法人として許可を受ける
1971（昭和46）年	（財）日本寄生虫予防協会および（財）予防医学事業中央会岩手県支部となる 農村巡回検診（貧血検査）を開始 県内初の検診車によるセット式循環器系検診を開始
1972（昭和47）年	旧済生会病院（盛岡市清水町）に移転 （社）全国労働衛生団体連合会会員となる 循環器系検診車「あおぎり1号」を整備
1973（昭和48）年	岩手県より登録衛生検査所として認可を受ける
1977（昭和52）年	巡回多項目検診、胸部X線検診車による結核検診、一般健康診断検診等を開始
1978（昭和53）年	岩手労働基準局より作業環境測定機関として認可を受ける
1979（昭和54）年	各種学術専門委員会を設置 協会シンボルマークを制定
1980（昭和55）年	施設を都南村（現盛岡市）永井の農村管理センターに移転し、一日人間ドックを開始
1982（昭和57）年	機関紙「健康いわて」創刊
1983（昭和58）年	政府管掌健康保険成人病予防健診の指定機関となる 予防医学事業推進全国大会開催
1986（昭和61）年	健康教育事業を本格的に開始 水沢市（現奥州市）に県南支所を開設 検査・健診統計処理コンピューターシステムを導入 胃部X線検診車による事業所巡回胃部検診を開始
1988（昭和63）年	学童成人病予防健診（現生活習慣病予防健診）を開始 婦人科検診車を譲渡され、婦人科巡回検診を開始
1993（平成5）年	県南支所を金ケ崎町に移転し、名称を県南センターとする
1994（平成6）年	骨粗鬆症予防検診を本格的に開始
1994（平成8）年	世界で初めてＣＲシステムを搭載した胸部X線検診車を整備
1997（平成9）年	（財）結核予防会岩手支部と統合 フリーダイヤル「けんしん何でも相談」を開設
1998（平成10）年	乳がん検診にマンモグラフィを導入
1999（平成11）年	ホームページ開設
2001（平成13）年	労災保険二次健康診断等給付が開始し、健診実施機関として健診を開始
2004（平成16）年	人間ドックセンターを開設し、シニアドック・レディースドックを開始
2005（平成17）年	歯周病検診を全国に先駆けて開始 個人情報保護法の制定をうけ、個人情報保護方針を定める 会員制ヘルスサポートシステム「健康げんき倶楽部・気楽良（きらら）を開設
2006（平成18）年	基本理念・基本方針等を制定
2007（平成19）年	人事理念を制定
2008（平成20）年	特定健康診査・特定保健指導開始
2010（平成22）年	メンタルヘルス事業を開始 県南センター人間ドック/健診フロアをリニューアル
2011（平成23）年	東日本大震災（3.11）により検診車が被災 被災地の健康支援事業を開始
2012（平成24）年	公益財団法人として認定を受ける プライバシーマークの付与認定を受ける
2013（平成25）年	盛岡市北飯岡に新施設「Big Waffle」を建築し、移転
2014（平成26）年	「Big Waffle」において新しい人間ドック、精密検査外来を開始 ヘルシーレストラン「食楽良（くらら）」オープン
2015（平成27）年	盛岡市北飯岡の敷地内に幼老統合施設「Cocoa」を建築し、幼老統合事業を開始
2018（平成30）年	盛岡市北飯岡の敷地内に精密検査外来施設「ふわり」を開設
2020（令和2）年	創立50周年を迎える 県南センターで精密検査外来（呼吸器内科）を開始
2021（令和3）年	県内初の肺がんCT検診施設認定を受ける

2．組織図

令和６年４月現在



令和 6 年 7 月現在

3．職員構成

(1) 職員数

459 人（男 215・女 244）

(2) 有資格者

のべ 578 人

■ Big Waffle

	区　　分	人数
	専務理事（兼）呼吸器内科部長	1
	常務理事（兼）事務局長	1
医　　局	医局長 1、診療科部長・医師 23	24
事　務　局	事務局長	
	スーパーバイザー	1
	エグゼクティブアドバイザー	5
総　務　部	部長、次長	2
	総務課	9
	経理課	6
事業本部	本部長	1
事業推進部	IT・デジタル推進室	3
	広報室	2
	健診企画室	5
巡回事業部	次長	1
	地域・学校健診課	25
	産業健診課	42
	環境保健課	11
施設健診事業部	次長	1
	施設健診課	25
情報管理部	部長、次長	2
	情報管理課	43
健康推進部	部長、次長	2
	健康支援課	27
	看護課	44
医療技術部	部長、エグゼクティブアドバイザー	2
	臨床検査課	21
	生理機能検査課	52
	放射線課	28
幼老統合事業部	シニアアドバイザー	1
	保育係・児童係・介護係	20
小　　計	407（男 189・女 218）	407

■県南センター

	区　　分	人数
	センター長（兼）診療所長	1
医　　局	診療所長、診療科部長・医師	4
	センター事務長	1
	健診課	46
小　　計	52（男 26・女26）	52

区　　分	人数
医　師	30
保健師	35
看護師	94
管理栄養士	15
臨床検査技師	70
衛生検査技師	1
診療放射線技師	37
労働衛生コンサルタント（衛生工学）	1
第 1 種作業環境測定士	8
第 2 種作業環境測定士	3
第 1 種衛生管理者	54
薬剤師	1
保育士	17
介護福祉士	2
公認心理師	1
臨床心理士	1
生活相談員	7
准看護師	9
細胞検査士	6
超音波検査士	15
JHRS 認定心電図専門士	4
胃がん検診専門技師	11
マンモグラフィ撮影認定技師	9
肺がん CT 検診認定技師	2
健康運動指導士	4
選別聴力検査	141

4．役員・学術委員名簿

令和６年７月現在　氏名かな順

〈評議員〉

遠藤　美江子	JA 岩手県女性組織協議会長
鎌田　英樹	株式会社アイビーシー岩手放送代表取締役会長
川村　康範	岩手県環境保健研究センター副所長
菅原　和宏	株式会社岩手銀行取締役常務執行役員
大黒　英貴	一般社団法人岩手県歯科医師会専務理事
中村　和平	岩手県教育委員会事務局保健体育課首席指導主事兼総括課長
畑澤　博巳	一般社団法人岩手県薬剤師会長
日向　秀樹	岩手県保健福祉部健康国保課参事兼総括課長
宮田　　剛	岩手県立中央病院長
望月　　泉	八幡平市病院事業管理者
吉田　陽悦	岩手県保健福祉部医療政策室長

〈役　員〉

名誉会長

小原　紀彰	公益財団法人岩手県予防医学協会前会長

会　長（代表理事）

本間　　博	一般社団法人岩手県医師会長

専務理事（業務執行理事）

武内　健一	公益財団法人岩手県予防医学協会呼吸器内科部長

常務理事（業務執行理事）

鈴木　和彦	公益財団法人岩手県予防医学協会事務局長

理　事

石垣　　泰	岩手医科大学内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授
伊藤　清孝	岩手県農業協同組合中央会代表理事会長
菅原　和彦	株式会社岩手日報社常勤監査役
丹野　高三	岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座教授
野原　　勝	岩手県企画理事兼保健福祉部長
吉岡　邦浩	岩手医科大学放射線医学講座教授
吉田　耕太郎	一般社団法人岩手県医師会常任理事

監　事

丹代　一志	昆税理士法人代表社員所長
長野　隆行	一般社団法人岩手県医師会監事
松下　壽夫	松下壽夫法律事務所長

〈学術専門・対策委員会〉

1. 呼吸器系検診専門委員会

宇部　健治	岩手県立中央病院呼吸器センター長・呼吸器内科長
勝又　宇一郎	岩手県立胆沢病院理事
川田　一郎	岩手医科大学医学部内科学講座呼吸器内科分野教授
小西　一樹	特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院理事長
武内　健一	公益財団法人岩手県予防医学協会専務理事・呼吸器内科部長
田村　太志	医療法人アンビシャス坂の上野田村太志クリニック院長
似内　郊雄	医療法人中庸会花巻市石鳥谷医療センター院長
毛利　　孝	特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院内科長
守　　義明	盛岡市立病院副院長・呼吸器内科長
山内　広平	医療法人社団松誠会滝沢中央病院長

■胸部読影専門部会

青　山　洋　二	医療法人ゆいの杜ゆい内科呼吸器科クリニック院長
石　川　一　郎	岩手県立中央病院放射線診断科
石　川　　浩	いしかわ内科クリニック院長
伊　藤　晴　方	医療法人社団恵仁会三愛病院副院長･医局長･薬剤科長･呼吸器内科部長･アレルギー科部長
宇　部　健　治	岩手県立中央病院呼吸器センター長・呼吸器内科長
及　川　茂　夫	岩手県立中央病院医療情報管理部長･医療情報管理室長･放射線診断科長･放射線治療科長
大　浦　裕　之	岩手県立中央病院副院長
大　島　俊　克	公益財団法人総合花巻病院理事長
久保田　公　宜	医療法人千藤了会久保田医院理事長
小　西　一　樹	特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院理事長
小　林　　研	（元）岩手県立一戸病院副院長・感染管理室長・内科長・在宅医療科長
小　林　　仁	医療法人杉の子会マリオス小林内科クリニック理事長
佐々木　　直	盛岡市立病院内科長
佐々木　達　哉	医療法人友愛会盛岡友愛病院理事長
菅　原　和　重	（元）医療法人博愛会一関病院
千　葉　裕　子	岩手県立中央病院放射線診断科
中　舘　俊　英	盛岡市立病院
似　内　郊　雄	医療法人中庸会花巻市石鳥谷医療センター院長
半　田　政　志	岩手県立胆沢病院参与
樋　口　清　一	医療法人泰悠会大浦内科・歯科クリニック
藤　井　祐　次	医療法人友愛会盛岡友愛病院呼吸器外科部長・緩和ケア外科部長
水　野　恵　子	岩手県立中央病院放射線診断科
守　　義　明	盛岡市立病院副院長・呼吸器内科長
山　内　広　平	医療法人社団松誠会滝沢中央病院長

2. 消化器系検診専門委員会

池　田　富　好	医療法人誠心会真山池田医院長
池　端　　敦	岩手県立中央病院医療研修部長
石　川　洋　子	医療法人共生会松園第二病院
小豆嶋　正　和	医療法人慶友会小豆嶋胃腸科内科クリニック理事長
中　塚　明　彦	なかつか消化器内科クリニック院長（胃部読影専門部会長）
松　本　主　之	岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野教授

委員会顧問

狩　野　　敦	公益財団法人岩手県対がん協会医療顧問
工　藤　俊　雄	医療法人遠山病院
鈴　木　恒　男	（元）大通胃腸科内科院長

■胃部読影専門部会

赤　坂　威一郎	岩手県立中央病院内視鏡科長・災害医療部次長
池　田　富　好	医療法人誠心会真山池田医院長
江　村　洋　弘	医療法人江村胃腸科内科医院長
大　屋　敬一郎	大屋内科胃腸科クリニック院長
岡　田　健　男	医療法人健育会岡田消化器科内科医院長
小　野　　満	岩手県立中央病院附属紫波地域診療センター長
萱　場　尚　一	岩手県立胆沢病院副院長
工　藤　俊　雄	医療法人遠山病院
小　坂　陽　一	医療法人七星会小坂内科消化器科クリニック顧問
佐　藤　　治	医療法人さとう胃腸科内科院長
小豆嶋　立　頼	医療法人慶友会小豆嶋胃腸科内科クリニック院長
菅　原　　優	（元）公益財団法人岩手県予防医学協会県南センター
鈴　木　恒　男	（元）大通胃腸科内科院長
鈴　木　　昇	（元）緑ヶ丘消化器科内科医院長

栃　内　秀　貴　　栃内内科医院長
長　澤　　茂　　医療法人三秋会一関中央クリニック名誉院長
中　塚　明　彦　　なかつか消化器内科クリニック院長
中　村　義　明　　中村内科医院長
本　田　健　一　　医療法人本田胃腸科内科外科院長
山　岡　　豊　　社会福祉法人清智会理事長
吉　田　俊　巳　　医療法人緑明会吉田消化器科内科院長

3. 生活習慣病健診等専門委員会

旭　　浩　一　　岩手医科大学医学部内科学講座腎・高血圧内科分野教授
石　垣　　泰　　岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授
川　村　　実　　特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院副院長
大和田　真　玄　　岩手医科大学医学部内科学講座循環器内科分野講師（循環器検査専門部会長）
關　　博　文　　特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院長（脳ドック専門部会長）
滝　川　康　裕　　岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科分野客員教授

■循環器検査専門部会

市　川　　隆　　医療法人社団帰厚堂南昌病院第１循環器内科部長
大和田　真　玄　　岩手医科大学医学部内科学講座循環器内科分野講師
小　松　　隆　　公益財団法人岩手県予防医学協会心臓内科部長
田　巻　健　治　　公益財団法人岩手県予防医学協会医局長・循環器科部長
千　葉　直　樹　　医療法人歴程ちばクリニック院長
那　須　雅　孝　　医療法人社団恵仁会三愛病院副院長・循環器科部長・総合検査科長
野　崎　英　二　　岩手県立中央病院参与
八　木　卓　也　　岩手県立胆沢病院副院長・循環器内科長・救急医療科長

■眼底検査専門部会

朝　倉　章　子　　医療法人社団新津あさくら眼科クリニック院長
岩　見　千　丈　　北上済生会病院眼科科長
小田島　祥　司　　（元）小田島眼科院長
白　井　淳　一　　医療法人社団白井眼科クリニック院長
玉　田　康　房　　玉田眼科理事長
森　　敏　郎　　医療法人社団緑翠堂森眼科クリニック院長
渡　邉　敏　明　　わたなべ眼科医院長

■脳ドック専門部会

及　川　博　文　　岩手医科大学医学部放射線医学講座特任講師
大　澤　成　之　　大澤クリニック副院長
大　澤　宏　之　　大澤クリニック院長
菊　池　貴　彦　　岩手県立中央病院統括副院長・診療部長・脳神経センター長・脳神経内科長
菅　原　孝　行　　公益財団法人岩手県予防医学協会脳神経外科部長
鈴　木　智　大　　岩手医科大学医学部放射線医学講座講師
關　　博　文　　特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院長
原　　一　志　　盛岡市立病院脳神経外科長
米　澤　久　司　　盛岡赤十字病院脳神経内科部長

4. 女性健診専門委員会

※編成中

■乳がん検診専門部会

石　田　和　茂　　岩手医科大学医学部外科学講座講師
石　田　茂登男　　乳腺外科いしだ外科胃腸科クリニック院長
宇佐美　　伸　　岩手県立中央病院乳腺・内分泌外科長
大　貫　幸　二　　宮城県立がんセンター　乳腺外科診療科長
齊　藤　純　一　　ブレスト齊藤外科クリニック院長
須　原　　誠　　岩手県立中央病院救急医療部長
多　田　隆　士　　公益財団法人岩手県予防医学協会乳腺外科部長

■婦人科検診専門部会

※編成中

5. 小児および学校保健専門委員会

赤　坂　真奈美　　岩手医科大学医学部小児科学講座教授
加　藤　奈穂子　　岩手県学校保健会養護教諭部会長
金　濱　誠　己　　一般社団法人岩手県医師会常任理事
熊　谷　亜希子　　岩手医科大学医学部臨床検査医学講座講師（学校心臓検診専門部会長）
中　村　和　平　　岩手県教育委員会事務局保健体育課主席指導主事兼総括課長
前　多　治　雄　　前多小児科クリニック院長（小児生活習慣病健診等専門部会長）
三　上　　仁　　岩手県立中央病院業務企画部長
山　崎　　健　　医療法人巖心会栃内第二病院いわて脊椎･側弯センター長（脊柱側弯検診専門部会長）

■学校心臓検診専門部会

遠　藤　秀　晃　　岩手県立中央病院医療安全管理部次長
小　山　耕太郎　　社会福祉法人新生会みちのく療育園メディカルセンター施設長
熊　谷　亜希子　　岩手医科大学医学部臨床検査医学講座講師
小　泉　淳　一　　岩手医科大学医学部心臓血管外科学講座准教授
齋　木　宏　文　　岩手医科大学医学部小児科学講座准教授
齋　藤　明　宏　　さいとう小児科クリニック院長
佐　藤　陽　子　　医療法人山口クリニック院長
高　橋　　信　　独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター内科医長
滝　沢　友里恵　　岩手県立中部病院小児科長
那　須　雅　孝　　医療法人社団恵仁会三愛病院副院長・循環器科部長・総合検査科長
藤　井　　裕　　一般財団法人みちのく愛隣協会東八幡平病院副院長

■脊柱側弯検診専門部会

大　山　素　彦　　独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター診療部長
加　藤　貞　文　　かとう整形外科クリニック院長
土井田　　稔　　岩手医科大学医学部整形外科学講座主任教授
長　澤　敏　明　　医療法人社団仁愛会理事長
双　木　　慎　　医療法人なみき双木整形外科医院長
村　上　秀　樹　　岩手医科大学医学部整形外科学講座特任教授
山　崎　　健　　医療法人巖心会栃内第二病院いわて脊椎・側弯センター長
山　部　大　輔　　岩手医科大学医学部整形外科学講座助教
吉　田　知　史　　よしだ整形外科クリニック院長

■小児生活習慣病健診等専門部会

石　垣　　泰　　岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授
石　川　　健　　岩手医科大学医学部小児科学講座特任教授
遠　藤　幹　也　　岩手医科大学医学部小児科学講座
高　橋　明　雄　　子どもは未来もりおかこどもクリニック副院長
前　多　治　雄　　前多小児科クリニック院長
三　上　　仁　　岩手県立中央病院業務企画部長

6. ウイルス肝炎専門委員会

阿　部　弘　一　　あべ菜園内科クリニック院長
石　川　和　克　　医療法人友愛会盛岡友愛病院
佐々木　美　香　　独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター副院長
杉　江　琢　美　　岩手県保健所長会副会長（宮古保健所長）
滝　川　佐波子　　一般社団法人岩手県医師会常任理事
滝　川　康　裕　　岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科分野客員教授
増　田　友　之　　岩手県赤十字血液センター所長
宮　坂　昭　生　　岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科分野准教授
吉　田　陽　悦　　岩手県保健福祉部医療政策室長

5．施設概要

■ Big Waffle

着　　工　　2012（平成 24）年 12 月
竣　　工　　2013（平成 25）年 11 月
敷地面積　　19,586.84 m^2
延床面積　　7,912.60 m^2
フ ロ ア　　1 階　総務部事務室、役員室、医局、会議室、検査室、
健診準備室、ギャラリーホール、健康げんき倶楽部“気楽良”、
ヘルシーレストラン“食楽良”
2 階　総合受付、健康診断・人間ドック・レディースフロア、食堂
3 階　事業推進部・巡回事業部・施設健診事業部・情報管理部・健康推進部・
医療技術部事務室、医局、読影室、画像処理室、サーバー室、会議室、
休憩室、休養室、出力作業室、倉庫

■県南センター

着　　工　　1992（平成 4）年 7 月
竣　　工　　1993（平成 5）年 10 月
敷地面積　　13,443.22 m^2
延床面積　　4,015 m^2
フ ロ ア　　1 階　事務室、医局、検査室、多目的ホール、会議室
電算室、岩手県厚生農業協同組合連合会事務室
2 階　健康診断・一日人間ドックフロア、食堂

■ふわり

着　　工　　2017（平成 29）年 4 月
竣　　工　　2018（平成 30）年 3 月
延床面積　　1,759.54 m^2
フ ロ ア　　1 階　臨床検査課・環境保健課事務室、学童保育エリア（運動室、学習室）、
男・女休憩室、倉庫
2 階　待合ホール、精密検査外来フロア
3 階　メンタルヘルスロビー、面接室

■幼老統合施設 Cocoa

着　　工　　2014（平成 26）年 8 月
竣　　工　　2015（平成 27）年 2 月
敷地面積　　3,659.41 m^2
延床面積　　970.53 m^2
フ ロ ア　　1 階　職員室、休憩室、厨房、医務室
保育エリア（遊戯室、0 ～ 5 歳児の年齢別各部屋、調乳室、沐浴室）
デイサービスエリア（相談室、食堂兼機能訓練室、浴室、洗濯室、静養室）
学童保育エリア（ホール、学習室）

6．機器整備

■検診車

令和6年6月現在

区　分	あおぎり	取得年月	補　助　等	所属管理
循環器系検診車	1号	平成19. 2	岩手中部広域市町村圏事務組合	Big Waffle
	3号	令和 4. 3	−	
	6号	平成16. 11	−	
	7号	〃 24. 5	−	
	10号	〃 23. 4	−	
	12号	〃 28. 3	−	
	13号	〃 29. 3	−	
	14号	令和 4. 3	−	
	16号	平成 9. 10	−	
	17号	〃 10. 8	岩手県	
	18号	〃 12. 9	宝くじ	
	19号	令和 5. 2	−	
	2号	令和 4. 1	−	県南センター
	4号	平成12. 2	−	
	5号	〃 26. 8	−	
	8号	〃 31. 1	−	
	15号	〃 5. 7	−	
胸部X線検診車	22号	令和 5. 9	−	Big Waffle
	24号	令和 5. 10	−	
	25号	平成25. 5	−	
	28号	〃 31. 3	−	
	29号	〃 27. 3	−	
	30号	〃 23. 3	−	
	32号	令和 2. 1	−	
	33号	平成29. 2	−	
	34号	令和 2. 2	−	
	35号	平成24. 3	−	
	40号	〃 18. 9	宝くじ	
	41号	〃 19. 12	日本財団	
	71号	〃 15. 12	岩手中部広域市町村圏事務組合	
	72号	〃 28. 3	−	
	75号	〃 25. 3	JA共済連	
	76号	〃 30. 3	−	
	21号	平成31. 1	−	県南センター
	23号	〃 23. 3	−	
	26号	〃 31. 3	−	
	27号	令和 2. 1	−	
	38号	平成11. 11	−	
胃部X線検診車	80号	令和 4. 12	JKA	Big Waffle
	81号	平成22. 3	−	
	82号	〃 29. 9	−	
	84号	〃 28. 2	JKA	
	85号	〃 29. 12	宝くじ	
	47号	平成17. 11	日本自転車振興会	県南センター
	83号	〃 25. 2	JKA	
	86号	令和 1. 8	−	
	87号	〃 1. 8	−	
婦人科検診車	50号	令和 2. 9	−	Big Waffle
	51号	平成14. 3	−	県南センター
超音波検診車	56号	平成 9. 6	−	Big Waffle
	57号	〃 8. 5	滋賀研究保健センターより譲渡	
乳房検診車	60号	令和 5. 1	−	Big Waffle
	61号	平成14. 4	−	
	62号	令和 2. 9	−	

■施設装置・検診車装置

機　器　名	メーカー・機種	台数
胸部 X 線撮影装置	島津　UD-150 L-40E 他	4
	キヤノン　MXO-15B 他	1
	富士　DHM-152TH 他	3
	富士　RADNEXT CS 他	19
	大林　TRB9020H	1
胃部 X 線装置	富士　EXAVISTA	3
	富士　DHF-153VMS TU-MA5Plus	1
	富士　DHF-153VHⅡ TU-M600	1
	キヤノン　SREX-D32C	2
	富士　ESPACIO AVANT	5
	富士　DIAVISTA Luce	6
	キヤノン　Raffine-i	3
乳房 X 線撮影装置	富士　Amulet Innovality	3
	キヤノン　MGU 100D	1
	メディソンアコマ　Pinkview-AT	3
CT	シーメンス　SOMATOM Emotion6	1
	キヤノン　Aquilion Lightning/Helios Edition	2
	富士　SCENARIA	1
MRI	キヤノン　VantageTitan 1.5T	1
	富士　ECHELON Smart 1.5T	1
成人用心電計	フクダ電子　FCP8300 他	59
学童用心電計	フクダ電子　ECP8641 他	10
血圧脈波検査装置	フクダ　VS-2500TN 他	7
スパイロメーター	チェスト　HI-801	15
	フクダ電子　SP-470	3
超音波診断装置	富士フィルムヘルスケア　ARIETTA65 LE 他	9
	キヤノン　Aplio a450 他	23
	GE　Vivid E90 他	5
	フィリップス　IE33	1
超音波骨評価装置	富士フィルムヘルスケア　AOS-100SA 他	9
眼底カメラ	キヤノン　CR-2 PLUS AF 他	25
	トプコン　TRC-NW400	4
眼圧計	キヤノン　TX-20P 他	6
視野スクリーニング検査機器	ZEISS　ハンフリー FDT スクリーナー	1
血液学検査装置	シスメックス　XN9000	1
	シーメンス　ADVIA2120i	1
液状処理細胞診前処理装置	日本 BD　トータス　D-Cube	1
液状処理細胞診塗抹装置	日本 BD　トータススライドプレップ	1
生化学自動分析装置	日立　LABOSPECT 008	3
	日本電子　BioMajesty JCA-BM9130	2
全自動免疫測定装置	シスメックス　HISCL-5000R	1
免疫測定発光装置	富士レビオ　ルミパルス　L2400	1
便潜血自動分析装置	栄研化学　OC センサー PLEDIA	2
全自動尿沈渣分析装置	シスメックス　UF5000	1
全自動尿分析装置	栄研化学　US3500	4
顕微鏡	オリンパス　BX-43F 他	15
	ニコン　エクリプス 80i 他	3
内視鏡システム	オリンパス　EVIS LUCERA ELITE 他	5
経膣用超音波診断装置	シーメンス　ソノビスタ FX 他	5
脊柱側弯症検診装置	エーアンドエーシステム　ABS-1000S 他	2
高速液体クロマトグラフ	Agilent 1260 Infinity LC システム	1
	島津　Prominence-i	1
ガスクロマトグラフ	島津　GC-2014　他	4
粉じん計	柴田科学　LD-5R　他	8
	日本カノマックス　MODEL3422	2
振動感覚計	リオン　AU-02B	2
VDT 視力計	トーメー　NS-050 他	12
VDT 近点計	ニデック　VNP-200	2
	東和　NS-100	2
オートレフラクトメーター	トーメー　RC-5000	1
	ニデック　AR-330A	1
タッピング測定器	竹井機器工業　TKK1347	3
X線回析装置	BRUKER　D2 PHASER　2nd Generation	1

7. 精度管理実施状況

■内部精度管理

検査データの正確性・精密性の維持向上を目的とし日々実施している。検体の取り違え、検体運搬・保存方法など検査前の管理から、サンプリング方法・分析機器の管理コントロールを用いての日差・日内変動などをチェックし、検査結果の評価を行っている。

■外部精度管理

コントロールサーベイやクロスチェックにより、他施設との比較を行い自施設の検査精度・検査データの正確度を評価している。客観的な正確度の評価を行い、精度・技術の向上に繋げており、当協会は常に高い評価を得ている。
主に下記団体主催の精度管理調査に参加している。

日本医師会	日本総合健診医学会
岩手県医師会	予防医学事業中央会
日本臨床衛生検査技師会	全国労働衛生団体連合会
岩手県臨床衛生検査技師会	日本作業環境測定協会
日本診療放射線技師会	結核予防会

8. 許可・認可等

作業環境測定機関 第 3-2 号
特定健康診査機関・特定保健指導機関
全国健康保険協会管掌健康保険健診実施機関
労災保険二次健康診断・特定保健指導指定機関
労働衛生サービス機能評価認定 第 81 号認定機関
日本総合健診医学会優良総合健診施設
日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診 施設・画像認定施設
日本臨床細胞学会認定施設
国立長寿医療研究センターコグニサイズ促進協力施設
プライバシーマーク付与認定第 14200087 号
肺がんＣＴ検診認定機構肺がんＣＴ検診認定施設
日本消化器がん検診学会大腸ＣＴ検査技術認定施設
日本人間脳ドック学会認定施設
日本乳癌検診学会登録認証施設

9. 全国組織とのかかわり

公益財団法人予防医学事業中央会（岩手県支部）
公益財団法人結核予防会（岩手県支部）
公益社団法人全国労働衛生団体連合会会員
公益社団法人日本作業環境測定協会会員
公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会会員
一般社団法人日本総合健診医学会会員

10. 付属第一診療所

保険医療機関
労災保険指定医療機関
結核指定医療機関
生活保護法及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び
永住帰国後の自立の支援に関する法律に基づく指定医療機関

事業年報　第 53 号（令和 5 年度報告）

2025 年（令和 7 年）1 月発行

発行者　本間　博

編　集　事業推進部　広報室

山口北州印刷株式会社

発行所　公益財団法人岩手県予防医学協会
〒 020-8585　岩手県盛岡市北飯岡四丁目 8 番 50 号
電話 019-638-7185
HP　www.aogiri.org